

かけ橋

まだ見ぬ君へ…

国道一号（バイパス）の江川地下道に、前田区子ども会によって、海の中をイメージしたかわいらしい壁画が描かれましたのでお知らせします。

前田区子ども会による

海中をイメージした地下道

江川地下道は、中に電気はついていますが、道幅が狭いため薄暗く、また、その周辺も人通りが少ないことから、暗いイメージがありました。そのせいか、地下道の周辺では治安が悪く、大人でも一人で歩くには怖いところだったそうです。

この地下道は、前田区の子供たちの通学路になっており、区では深刻な問題となっていました。そこで、四月になってからは、毎日父兄が二人ずつ交代で、下校時間に合わせて地下道周辺の監視を続けてきました。こうした中、父兄から犯罪防止のた

め地下道に壁画を描いたら、という提案が出されました。これを受け、前田区子ども会の全員が、二日間かけて「海の中」をテーマに思い思いのデザインで壁画を制作しました。

前田区区長の長嶋政雄さんは、「絵が描かれて地下道は明るい雰囲気になりました。子供たちも自分がかいた絵があつて、地下道を通るのがとても楽しいようです。一般の利用者からの評判もいいですね。ただ、地下道の中は明るくなつたけれども、周辺ももっと明るくしたいものです。兵庫県の小学生殺害事件もあつたことだし、区として行政に働きかけをするなど、犯罪防止に向けてもっと考えていかなければ…」と話してくれました。



壁には、カラフルなクジラ、タコ、カニなどが描かれています



前田区子ども会の皆さん

還暦野球チーム「富士オールデイズ」

ズームアップ

ふじ



「富士オールデイズ」は、去る六月に行われた「お父さんの甲子園」として知られている「第九回全日本生涯野球大会」の六十歳以上の部で、見事優勝を果たしました。これで二年連続の優勝となり、この大会で過去に実績のあるチームだけが出場できる東京ドーム大会への切符も獲得しました。

富士オールデイズの結成は、平成七年九月。監督の野沢茂さん（水戸島本町）と主将の植松賢次さん（大淵）が、みんなで野球を楽しみ、さらに試合に勝負喜びを味わおうと、早朝野球の仲間などに呼びかけをしたのが始まりです。メンバーは現在、二十四人。ほとんどの人が学生時代に野球を経験しているという強豪チームです。

チームを率いる野沢監督は、次のように話してくれました。「うちのチームは、村松電気の御好意により無料でグラウンドを貸していただいています。練習は厳しいですよ。みんな何



富士オールデイズの皆さん

しろ練習熱心。お金を出し合つてピッチングマシンまで買ってしまいましたから…。でも、くたくたになった練習後の一杯も一つの楽しみになっていますね。このチームができて、みんな健康的で生き生きしていますし、生涯野球の星になった気分です。球をやっていますよ（笑）。

次の目標は、九月に行われる東京ドーム大会での優勝です。ガンバレ！富士オールデイズ。※メンバー募集中。問い合わせは野沢方へ ☎六〇一七三四七